

日本語教育方法論Ⅱ

日本語教育方法論Ⅱ

2単位 (選択) 2年 (後期)

大石 寧子・教授/国際センター

【授業目的】 「外国語としての日本語」を認識・理解し、その教育方法について考察し、言語学習活動の基礎とする。

【授業概要】 日本語教育とは、日本語を教えるということ、何をどう教えるか、日本語教育に係る領域・環境について考察し、自分なりの日本語教育方法を模索する

【キーワード】 外国語としての日本語、何を教えるか、どう教えるか

【先行科目】 [先行科目]

【関連科目】 [関連科目]

【履修上の注意】 隔年開講のため2011年には開講されない。

【到達目標】 外国語としての日本語を認識・理解する。またその教育方法論を学ぶ。

【授業計画】

1. 本授業の概要・計画の説明
2. 「外国語としての日本語」に必要なもの①
3. 「外国語としての日本語」に必要なもの②
4. 「外国語としての日本語」のコンテンツ①シラバス
5. 「外国語としての日本語」のコンテンツ②シラバス以外のもの
6. 留学生に聞く
7. 何を教えるか①
8. 何を教えるか②
9. どう教えるか①
10. どう教えるか②
11. 「外国語としての日本語」教育におけるクラス運営①
12. 「外国語としての日本語」教育におけるクラス運営②
13. 「外国語としての日本語」教育における教材・教具とは
14. 留学生・地域と「面白い日本語授業」考える
15. 「面白い日本語授業」のグループ発表
16. 総括

【成績評価】 グループ発表時の積極性、クラスに臨む姿勢、参加度を重視。またレポートを課す。

【再試験】 無

【教科書】 適宜コピー教材を配付

【参考書】

- ◇ 「日本語教育の方法」田中望 大修館書店
- ◇ 「新しい日本語教育のために」J.V. ネウストプニー サイマル出版
- ◇ 「新・はじめての日本語教育1・2」アスク出版

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218924>

【連絡先】

⇒ 大石 寧子(徳島大学国際センター)088-656-9875 oishi@isc.tokushima-u.ac.jp (オフィスアワー: 金曜日午前、但し事前にメール・電話で連絡があった場合は、他の曜日・時間でも対応します。)

【備考】 隔年開講、2011年には開講されない。

Target) 「外国語としての日本語」を認識・理解し、その教育方法について考察し、言語学習活動の基礎とする。

Outline) 日本語教育とは、日本語を教えるということ、何をどう教えるか、日本語教育に係る領域・環境について考察し、自分なりの日本語教育方法を模索する

Keyword) 外国語としての日本語, 何を教えるか, どう教えるか

Fundamental Lecture) [先行科目]

Relational Lecture) [関連科目]

Notice) 隔年開講のため 2011 年には開講されない。

Goal) 外国語としての日本語を認識・理解する。またその教育方法論を学ぶ。

Schedule)

1. 本授業の概要・計画の説明
2. 「外国語としての日本語」に必要なもの①
3. 「外国語としての日本語」に必要なもの②
4. 「外国語としての日本語」のコンテンツ①シラバス
5. 「外国語としての日本語」のコンテンツ②シラバス以外のもの
6. 留学生に聞く
7. 何を教えるか①
8. 何を教えるか②
9. どう教えるか①
10. どう教えるか②
11. 「外国語としての日本語」教育におけるクラス運営①
12. 「外国語としての日本語」教育におけるクラス運営②
13. 「外国語としての日本語」教育における教材・教具とは
14. 留学生・地域と「面白い日本語授業」考える
15. 「面白い日本語授業」のグループ発表
16. 総括

Evaluation Criteria) グループ発表時の積極性、クラスに臨む姿勢、参加度を重視。またレポートを課す。

Re-evaluation) 無

Textbook) 適宜コピー教材を配付

Reference)

- ◇ 「日本語教育の方法」田中望 大修館書店
- ◇ 「新しい日本語教育のために」J.V. ネウストプニー サイマル出版
- ◇ 「新・はじめての日本語教育1・2」アスク出版

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218924>

Contact)

⇒ 大石 寧子(徳島大学国際センター)088-656-9875 oishi@isc.tokushima-u.ac.jp (Office Hour: 金曜日午前、但し事前にメール・電話で連絡があった場合は、他の曜日・時間でも対応します。)

Note) 隔年開講、2011 年には開講されない。